

令和元年度 経営発達支援事業

地域経済動向調査レポート

(平成31年4月～令和2年3月)

胎内市連合商工会

中条町商工会/黒川商工会

目 次

I 地域企業景況調査要領
II 地域産業全体の景況概要
III 産業別景況概要
1 製造業
2 建設業
3 小売業
4 サービス業

I 地域企業景況調査要領

1 調査対象

- (1) 対象地区 胎内市内（中条地区、築地地区、乙地区、黒川地区）
- (2) 対象企業数 20 企業
- (3) 回答企業数 20 企業

2 調査対象時点

平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月期の 4 半期毎を対象とし、調査時点は下記の通りとした。

対象期間	調査時点
H31. 4～ 6	令和元年 6 月 1 日
R1. 7～ 9	令和元年 9 月 1 日
R1. 10～ 12	令和元年 12 月 1 日
R2. 1～ 3	令和 2 年 3 月 1 日

3 調査方法

- (1) 調査員（経営指導員）による訪問面接調査
- (2) 調査対象企業の抽出は、業種・規模等を勘案した有意抽出法による。

4 調査対象と回答企業の構成

区分 業種別	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	4	20%	4	20%
建設業	6	30%	6	30%
小売業	4	20%	4	20%
サービス業	6	30%	6	30%
合計	20	100%	20	100%

分析方法と D I

報告書中の「D I」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

（例）売上高で前期との比較を行う。その結果、「増加」企業が 50%、「不変」企業が 20%、「減少」企業が 30%となった場合。
「D I」値 … 50（増加）－ 30（減少）＝ 20

となり、全体としての経営者の売上高に対する上昇（好転）の割合を表している。（「不変」企業は計算外となる。）

本調査は地域企業の景気の動向について、その実態と要因を四半期毎に前期と前年同期比及び来期見通しの分析をしており、D I の値により天気図で区分している。

景況天気図の見方

天気図	天気	D I
	快晴	30.1 以上
	晴れ	30.0～ 10.1
	薄曇	10.0～ △10.0
	曇	△10.1～ △30.0
	雨	△30.1 以下

II 地域産業全体の景況概要

全国的には、全産業ベースのD I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額が△27.2、採算（経常利益）は△26.6、資金繰りは△15.5となっている。いずれのD Iも前年の水準と比べると売上額は△7.7ポイント、採算は△4.3ポイント、資金繰りでは△1.1ポイントと昨年を下回る結果となった。

業況を製造業、建設業、小売業、サービス業の4分野で見ると、全分野で3D I全てが前期比マイナスだが、マイナス幅は小幅な範囲にとどまっている。また、これら4分野を1年前の水準と比較するといずれのD Iもごく緩やかに悪化しており、現状を維持しながら推移しているとみられる。

今年度の経営上の問題点としては、どの業種においても10月の消費税率引き上げに伴い原材料や仕入単価の上昇が懸念されている。また、4分野全てにおいて「需要の停滞」をあげる経営者が多いものの、その割合は前期と比べるとやや低下している。一方、人件費の増加や人手不足が問題点となる割合が少しずつ増えてきており、建設業とサービス業では特に顕著である。

当県における業況D Iをみると、前期比で全ての業種で悪化が示されている。特に製造業では大幅な悪化となった。来期の見通しにおいても横ばいと見込まれており、回復の動きに足踏みが続くことを予想する結果となった。前期から続いていた停滞基調に加え、今年度は消費税増税の影響が10月～12月期以降で如実に表れており、予断を許さない状況である。

（出典：中小企業景況調査報告書）

当地区では、県内景況と同様に多くの不安材料により売上額、採算、業況の3D Iで悪化を示しており、今後も厳しい状況が続くと予想される。以下において、当地区の主要景況項目別に検証することとする。

【売上高】

売上高（加工高・完成工事高・収入高を含む）は、製造業で18.8、建設業で△8.4、小売業で△31.3、サービス業で12.5、全体では△8.4となり、製造業・サービス業では前年同比で改善したが、他2業種は前年同様で悪化を示した。前年同期比における来期の見通しについては、建設業・小売業では改善されないと予想している。

【採算】

採算（経常利益）は、製造業で12.5、建設業が8.4、小売業が△12.5、サービス業が△8.4、全体で0.0となり、業種によっては改善された結果となった。特に建設業では、前年比から40ポイント以上改善している。

売上高数値同様に、全国平均からはプラスとなった。

来期見通しでは、サービス業では変わらないと予測する割合が高いが、それ以外は引き続き悪化を予想している。

【資金繰り】

資金繰りは、製造業で0.0、建設業が29.2、小売業が△6.3、サービス業が△12.5と、小売業及びサービス業では前年比で悪化を示している。全体では2.6となっており、前年同比で1.4ポイント悪化している。

前年同期における来期見通しでは、建設業では好転、製造業では変わらないと予想している一方で、小売業・サービス業は今後も資金繰りを心配する傾向が続く。

Ⅲ 産業別景況概要

1 製造業

(1)景況概要

製造業の今期の景況を見ると、全ての項目において10～12月期で一度落ち込むものの、回復基調で横ばい若しくは改善に向かっている。その一方で、来期の見通しは「採算」や「業況」の面から悪化すると予想している。

(2)主要景況項目の天気図

年月	売上高		採算		資金繰り		業況	
	天気	DI	天気	DI	天気	DI	天気	DI
31年4月～6月	薄曇 ☁	± 0.0	薄曇 ☁	± 0.0	薄曇 ☁	± 0.0	曇 ☁	△25.0
1年7月～9月	快晴 ☀	50.0	晴 ☀☁	25.0	薄曇 ☁	± 0.0	晴 ☀☁	25.0
10月～12月	曇 ☁	△25.0	薄曇 ☁	± 0.0	曇 ☁	△25.0	曇 ☁	△25.0
2年1月～3月	快晴 ☀	50.0	晴 ☀☁	25.0	晴 ☀☁	25.0	薄曇 ☁	± 0.0
4月～6月 (来期の見通し)	薄曇 ☁	± 0.0	曇 ☁	△25.0	薄曇 ☁	± 0.0	曇 ☁	△25.0

(3)設備投資の状況

今年度に設備投資を実施したと回答した企業の割合は、43.8%で、投資内容は「OA機器」が33.3%、次いで「生産設備」が25.0%、「工場建物」「車両・運搬具」が16.7%、「付帯施設」が8.3%となっている。

また、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は、50.0%で、投資計画の内容としては「生産設備」「車両・運搬具」「OA機器」となっている。

(4)経営上の問題点

※ () 内は前年の順位、【 】内は前年の%

1位	原材料価格の上昇	19.2%	(7)	【 6.4】
2位	生産設備の不足・老朽化	14.9%	(3)	【10.1】
2位	人件費の増加	14.9%	(5)	【 9.3】
4位	大企業の進出による競争の悪化	8.5%	(2)	【12.0】
4位	金利負担の増加	8.5%		
6位	製品ニーズの変化への対応	6.4%	(9)	【 5.6】
6位	原材料費・人件費以外の経費の増加	6.4%		
8位	生産設備の過剰	4.2%	(12)	【 0.0】
8位	従業員の確保難	4.2%	(1)	【12.8】
8位	熟練技術者の確保難	4.2%	(5)	【 9.3】
8位	需要の停滞	4.2%	(3)	【10.1】
12位	新規参入業者の増加	2.2%	(12)	【 0.0】
12位	事業資金の借入難	2.2%		
14位	原材料の不足	0.0%	(11)	【 1.9】
14位	製品（加工）単価の低下・上昇難	0.0%	(7)	【 6.4】
14位	取引条件の悪化	0.0%	(9)	【 5.6】

2 建設業

(1)景況概要

建設業の今期の景況を見ると、「売上高」で10月以降悪化傾向にあったが、「採算」「業況」が安定しているほか、「資金繰り」も好調である。

来期の見通しは、比較的良好だった今期に比べ「資金繰り」を除いては悪化すると予想する割合が増えている。

(2)主要景況項目の天気図

年月	売上高		採算		資金繰り		業況	
		D I		D I		D I		D I
31年4月～6月	薄曇 ☁	± 0.0	薄曇 ☁	± 0.0	快晴 ☀	33.3	曇 ☁	△16.7
1年7月～9月	薄曇 ☁	± 0.0	晴 ☀	16.7	快晴 ☀	50.0	晴 ☀	16.7
10月～12月	曇 ☁	△16.7	薄曇 ☁	± 0.0	晴 ☀	16.7	晴 ☀	16.7
2年1月～3月	曇 ☁	△16.7	晴 ☀	16.7	晴 ☀	16.7	晴 ☀	16.7
4月～6月 (来期の見通し)	曇 ☁	△20.0	曇 ☁	△20.0	晴 ☀	20.0	曇 ☁	△20.0

(3)設備投資の状況

今年度に設備投資を実施したと回答した企業の割合は、25.0%で、投資内容は「建物」「建設機械」「車両・運搬具」が28.6%、次いで「その他」が14.2%であった。

また、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は16.7%で、投資計画の内容としては「建設機械」のみと低調な数値となっている。

(4)経営上の問題点

※（ ）内は前年の順位、【 】内は前年の%

1位	熟練技術者の確保難	29.5%	(2) 【25.6】
2位	従業員の確保難	22.7%	(4) 【16.9】
3位	官公需要の停滞	20.5%	(2) 【24.6】
4位	材料価格の上昇	11.4%	(8) 【0.0】
5位	下請業者の確保難	6.7%	
6位	大企業の進出による競争の悪化	2.3%	(5) 【4.5】
6位	材料の入手難	2.3%	
6位	材料費・人件費以外の経費の増加	2.3%	(6) 【2.2】
6位	民間需要の停滞	2.3%	(1) 【32.0】
10位	新規参入業者の増加	0%	(6) 【2.2】
10位	人件費の増加	0%	(8) 【0.0】
10位	請負単価の低下・上昇難	0%	(8) 【0.0】
10位	下請け価格の上昇	0%	
10位	金利負担の増加	0%	
10位	取引条件の悪化	0%	(8) 【0.0】
10位	事業資金の借入難	0%	
10位	その他	0%	(8) 【0.0】

3 小売業

(1)景況概要

小売業の今期の景況を見ると、「資金繰り」は低下、「売上高」「採算」は全期を通じて悪化となり、特に10月～12月期で大きな減少がみられる。「業況」も「売上高」に同期して前期を通じて悪化傾向にあった。

来期の見通しは、すべての項目において悪化すると予想する割合が大きい。

(2)主要景況項目の天気図

年月	項目	売上高		採算		資金繰り		業況	
			D I		D I		D I		D I
31年	4月～6月	晴 ☀️☁️	25.0	晴 ☀️☁️	25.0	薄曇 ☁️	± 0.0	曇 ☁️	△25.0
1年	7月～9月	曇 ☁️	△25.0	薄曇 ☁️	± 0.0	曇 ☁️	△25.0	雨 ☔️	△75.0
	10月～12月	雨 ☔️	△75.0	曇 ☁️	△25.0	薄曇 ☁️	± 0.0	雨 ☔️	△50.0
2年	1月～3月	雨 ☔️	△50.0	雨 ☔️	△50.0	薄曇 ☁️	± 0.0	雨 ☔️	△75.0
	4月～6月 (来期の見通し)	雨 ☔️	△100	雨 ☔️	△75.0	曇 ☁️	△25.0	雨 ☔️	△100

(3)設備投資の状況

今年度に設備投資を実施したと回答した企業の割合は、12.5%で、投資内容は「車両・運搬具」に留まった。

また、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は、0%で、投資計画は景況結果からみても設備投資は出来ない状況が見て取れる。

(4)経営上の問題点

※（ ）内は前年の順位、【 】内は前年の%

1位	消費者ニーズの変化への対応	22.7%	(1)【19.5】
2位	需要の停滞	20.5%	(3)【11.4】
3位	販売単価の低下・上昇難	13.6%	(3)【11.4】
4位	購買力の他地域への流出	11.4%	(5)【10.1】
5位	店舗の狭隘・老朽化	9.1%	(9)【4.0】
5位	事業資金の借入難	9.1%	
7位	仕入単価の上昇	6.8%	(9)【4.0】
8位	従業員の確保難	4.5%	(2)【18.6】
9位	商品在庫の過剰	2.3%	(5)【10.1】
10位	大型店・中型店の進出による競争の激化	0.0%	(7)【7.0】
10位	同業者の進出	0.0%	
10位	駐車場の確保難	0.0%	
10位	人件費の増加	0.0%	(8)【5.8】
10位	人件費以外の経費の増加	0.0%	(11)【2.3】
10位	金利負担の増加	0.0%	
10位	代金回収の悪化	0.0%	
10位	その他	0.0%	(11)【2.3】



















4 サービス業

(1)景況概要

サービス業の今期の景況を見ると、「売上高」は4月～9月期で良好だったが、10月以降は悪化がみられる。「売上高」の悪化により「採算」も悪化し「資金繰り」にも影響がでている。

来期の見通しは、「売上高」で前年同様多少の期待感から現状維持を予想するも「資金繰り」で悪化の推移が予想されている。

(2)主要景況項目の天気図

年月	項目	売上高		採算		資金繰り		業況	
			D I		D I		D I		D I
31年4月～6月	快晴 		50.0	曇 	△16.7	曇 	△16.7	薄曇 	± 0.0
1年7月～9月	晴 		16.7	薄曇 	± 0.0	薄曇 	± 0.0	快晴 	33.3
10月～12月	曇 		△16.7	曇 	△16.7	曇 	△16.7	晴 	16.7
2年1月～3月	薄曇 		± 0.0	薄曇 	± 0.0	曇 	△16.7	薄曇 	± 0.0
4月～6月 (来期の見通し)	薄曇 		± 0.0	薄曇 	± 0.0	曇 	△16.7	薄曇 	± 0.0

(3)設備投資の状況

今年度に設備投資を実施したと回答した企業の割合は25.0%で、投資内容は「その他」が42.9%、次いで「サービス設備」が28.5%、「車両・運搬具」「付帯施設」が14.3%となっている。

また、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は、33.3%で、投資計画の内容としては「サービス設備」「付帯施設」が挙げられている。

(4)経営上の問題点

※（ ）内は前年の順位、【 】内は前年の%

1位	材料等仕入単価の上昇	19.4%	(3)	【12.5】
2位	新規参入業者の増加	10.4%	(8)	【3.6】
2位	人件費以外の経費の増加	10.4%	(6)	【6.1】
2位	従業員の確保難	10.4%	(5)	【8.9】
5位	利用者ニーズの変化への対応	9.0%	(2)	【18.1】
5位	利用料金の低下・上昇難	9.0%	(10)	【1.8】
7位	店舗の狭隘・老朽化	7.5%	(1)	【25.2】
7位	需要の停滞	7.5%	(3)	【12.5】
9位	人件費の増加	6.0%		
9位	熟練技術者の確保難	6.0%	(6)	【6.1】
11位	大企業の進出による競争の激化	3.0%	(8)	【3.6】
12位	事業資金の借入難	1.4%		
13位	金利負担の増加	0.0%	(10)	【1.8】
13位	その他	0.0%	(10)	【1.8】